

令和5年度 第2回 生涯学習推進協議会  
会議要旨

議 事

(1) 京田辺市複合型公共施設整備基本構想について

事務局が京田辺市複合型公共施設整備基本構想について説明

(委 員) 工事着工はいつか。

(事務局) 工事着工は1年後。造成に3～5年かかる。7～8年後にオープンしたい。

(委 員) 高齢者は免許返上をうながされる。北部から市役所まで1時間に1本しかバスはない。コミュニティバスを走らせてくれるのか。

(事務局) 近鉄・JRの駅の近くに整備するため、コミュニティバスは考えていない。バスの運行についてはバス会社と調整している。

(委 員) 完成時には、人口のピークを過ぎているのではないか。20年、30年後を見据えて欲しい。完成しても他市からの利用や転入は難しいのではないか。

(事務局) 完成時人口のピークになる予定。市民が集まりやすい、自由に遊べる場にしたい。

(委 員) 多くの人に楽しんでもらえる施設が良い。

(事務局) 中途半端なものは作らず、使われ方をイメージしながら作りたい。

(委 員) 文化ホール、公民館、図書館は、他市も同じものを持っている。それぞれの機能をどう使い分けるのか。市民は混乱するのではないか。

(事務局) 管理主体が別々だと混乱するが、市が管理主体となるので、複合化させることで機能をオーバーラップさせ、新たなものを生み出したい。

(委 員) 中高生から大学生といった若い世代の意見も聞く予定はあるのか。

(事務局) これから機会を設ける。

(委 員) 京田辺市は文化財が多い。博物館機能も付けて欲しい。

(事務局) 博物館を設ける予定はない。

(委 員) ホールや図書館だけだと数か月に1回の利用になる。個人教室等を設けられるのか。普段使いできる場所になるのか。

(事務局) ふらっと訪れることができる場所にしたい。

(2) 生涯学習推進協力員制度の見直しについて

資料の内容について、事務局より説明

(委 員) 推進員が活躍している地域と、充て職の地域とがあった。研修を受けてもらって、推進員が情報提供できるようにして欲しい。

(事務局) 協力員の交流会を行い、協力員の活動紹介や研修を行う予定。

- (委 員) 積極的にやりたい人を補助して、住んでいる地域に関係なく派遣してはどうか。わずかで良いから報酬が必要。報酬がないとうまくいかないのではないか。
- (委 員) 自治会で公募して、手を挙げる人はいるのか。研修を実施して欲しい。
- (事務局) 全ての地域から選出してもらうのではなく、推進員になれる人がいる地域で出してもらう。制度改正や推進員の活躍をPRしていく。
- (委 員) 研修会や交流会も必要だが、報酬は必要。
- (事務局) 今後本部会議で検討します。

委員からの意見を踏まえ、京田辺市生涯学習推進本部が制度を決定することを伝える。